

はじめの一歩！CAP を呼ぶには！？

おとなワークショップ

種類

1) 子どもワークショップを
するために実施

- ・保護者ワークショップ
- ・教職員ワークショップ

2) 学習会として単独で実施
地域の防犯力、子育て支援力
を高めるために実施

- ・地域ワークショップ
自治会、子育てサークル
PTA、教職員研修など



【内容】

- ・暴力について
- ・権利について
- ・エンパワメント
- ・子どもワークショップ
の体験（一部）
- ・話の聴き方
- ・おとなにできること

	対象	人数	所要時間	料金
おとなワークショップ	おとななら誰でも	制限なし	2～3時間	20,000 円+税
教職員ワークショップ	教職員	制限なし	2～3時間	20,000 円+税

そのほかのプログラム

☆思春期の心と体プログラム（対象：中学生～） 料金：要相談

心も体もおとなへと大きく変化する思春期に新たに広がる人間関係や特別な関係の中で、自分自身の権利を大切に、相手も大事にできる関係性について考えます。

★講話時間：60分程度

☆CAP式 安全講話（対象：就学前～+教職員&保護者） 料金：20,000 円+税

従来の不審者対策講話とは異なり、暴力防止の視点から誕生した「具体的」で「スグに使える」子どもの勇気と自信を育む安全講話です。

★講話時間： 子ども向け20分 おとな向け60分～

☆気持ちのワークショップ（対象：小学生～） 料金：20,000 円+税

『気持ちの本』を使い、私達の心の中にある気持ちを、正直に受け止めて言葉にしていきます。さらに気持ちの裏側にある本当の気持ちにも気づけます。

★講話時間：60分程度



子どもの安心・自信・自由のために 活動にご協力ください
賛助会員随時募集中

年会費【個人】3,000 円（何口でも）、【団体】5,000 円（何口でも）

*年に2回の『CAPつうしん』他、講演会情報などをお届けします。

振り込み先 : ゆうちょ銀行
加入者名 : 特定非営利活動法人おきなわCAPセンター
口座記号番号 : 01770-4-111320

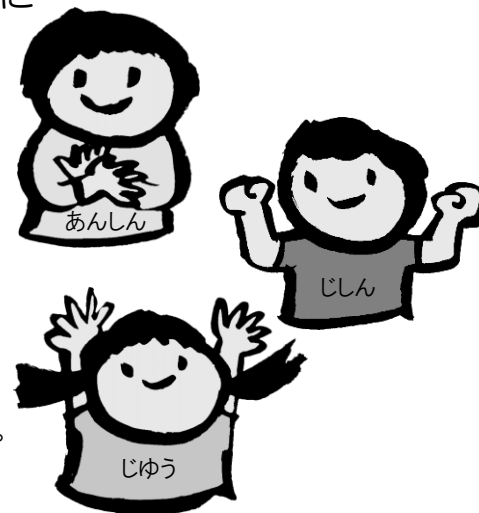


子どもが暴力から自分を守るために

キャップ

CAP

Child Assault Prevention



CAPは自分を大切にする
気持ちを育てる人権教育です。

特定非営利活動法人

おきなわCAPセンター

安心、自信、自由は私たちの大切なスローガンです。

(SAFE、STORONG、FREEはI/CAPの登録標語です)

CAPとは

Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）の頭文字をとったもので、子どもが暴力から自分を守るための教育プログラムです。

1978年にアメリカ オハイオ州で小学生がレイプされたことがきっかけとなって地元のレイプ救援センターでつくられました。その後全米に拡がり、世界各国で実施されるようになりました。

日本には、1985年アメリカのCAPトレーナー森田ゆりさんによって紹介され、現在日本各地でCAPプログラムが実施されています。

*CAPプログラムには著作権があり、CAPスペシャリスト以外の人が実施したり、まねをして使うことはできません。

お問い合わせ先

〒902-0066 沖縄県那覇市大道169-4 B-102 すぱーす結気付

TEL&FAX 098-975-9753（平日10時～16時）

メール okicap1996@gmail.com



子どもワークショップ



CAPのワークショップの特徴

*ワークショップ=参加型学習

①人権意識…人権意識を育てます

子どもにも「人権」があること、「あなたは大切な人」「あなたには安心・自信・自由の権利がある」と、発達段階に応じた分かりやすい言葉で伝えます。

②エンパワメント…問題解決能力を引き出します

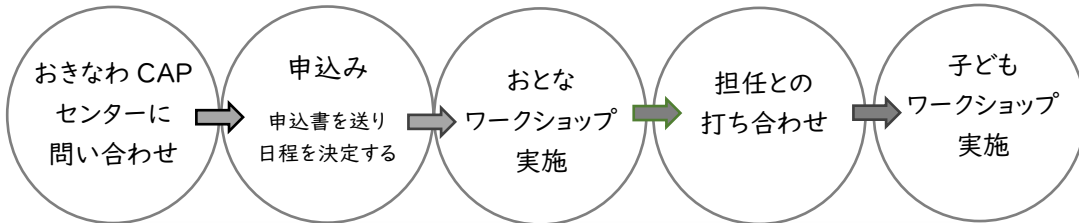
ロールプレイ（寸劇）や話し合いを通じて、自分を守るために何ができるのかを子どもたちと一緒に考え、行動の選択肢を増やします。子どもの内なる力を引き出すプログラムです。



③コミュニティ…家庭・学校・地域をつなぎます

子どもワークショップの前には、おとなワークショップの実施が必要です。

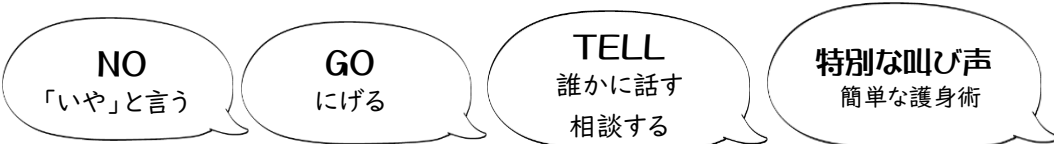
☆ワークショップ実施までの流れ



小学生ワークショップ 対象:小学校1年生~6年生



安心・自信・自由の権利を守るために何ができるか



	対象	人数	所要時間	料金
小学生ワークショップ	小学1年生・2年生	1クラス	授業1時間×2日	20,000円+税
小学生ワークショップ	小学3年生~6年生	1クラス	授業2時間	20,000円+税

中高生ワークショップ 対象:中学校~高校生



【1日目】

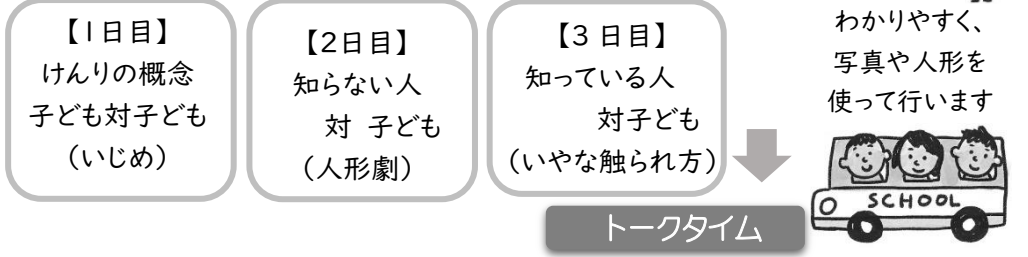
- 暴力とは何かを考える ■権利とは? 安心、自信、自由の3つの権利
- 3つの権利が奪われる具体例1:痴漢や暴漢にあったときのモノログとロールプレイ
- 3つの権利が奪われる具体例2:いじめのモノログとロールプレイ
- ピアプレッシャー(仲間からのプレッシャー)とピアサポート(仲間からのサポート)
- グループディスカッション ■トークタイム

【2日目】

- 3つの権利が奪われる具体例3:親からの押しつけ(ジェンダーの偏見)と体罰のロールプレイとモノログ
- 動いて選択:子どもたち全員が自分の意見を選んで動く
- 3つの権利が奪われる具体例4:中学生:知っている大人から性暴力のロールプレイ
中3~高校生:デートレイプ(恋人間の性暴力)のロールプレイ
- 気持ちを話す、聴く練習
- アサーティブネス(率直で誠実なコミュニケーション)のロールプレイと練習
- グループディスカッション ■トークタイム

	対象	人数	所要時間	料金
中高生ワークショップ	中学生・高校生	1クラス	授業2時間×2日	30,000円+税

就学前ワークショップ 対象:3歳~就学前(5歳)



	対象	人数	所要時間	料金
就学前ワークショップ	3歳~就学前児童	20人以下	約40分×3日	20,000円+税

その他のワークショップ

	対象	人数	所要時間	料金
特別支援学校ワークショップ	障がいに応じて	10人前後	状況に応じて	20,000円+税
児童養護施設ワークショップ	年齢に応じて	10人前後	状況に応じて	20,000円+税
福祉施設、支援センター等利用者向けワークショップ	状況に応じて	10人前後	状況に応じて	20,000円+税